

第4学年 体 育（運動領域）

第4学年の学習到達目標

- (1) 各種の運動の課題をもち、活動を工夫して運動を楽しくできるようにするとともに、その特性に応じた技能を身に付け、体力を養う。
- (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意して最後まで努力する態度を育てる。
- (3) 体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

第4学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	レツダンス	リズムに乗って誰とでも楽しく踊ることができる。 リズムの特徴をつかんだり、友達のよい動きを見付けたりすることができる。 いろいろなリズムに乗って踊ることができる。	リズムダンス ・ロックやサンバなど
	高跳び	順番や安全についてのきまりを守り、友達との競争を楽しみながら活動することができる。 自分の力に合った競争の仕方をめあてにもち、練習することができる。 調子よく踏み切って高く跳ぶことができる。	いろいろな跳び方 ・ゴム高跳び ・踏み切り板高跳び ・箱高跳びなど
	跳び箱運動	友達と場の安全や約束に気を付けながら、できる技、できそうな技に挑戦することができる。 自分が挑戦する技の課題や練習方法の見通しをもって活動することができる。 今できる技でいろいろな跳び箱を安定した動作で跳ぶことができる。また、新しい技ができる。	できる技、できそうな技 ・開脚跳び ・かかえこみ跳び ・下向き横跳び ・台上前転など
	水泳	今できる泳ぎ方や努力すればできそうな泳ぎ方に友達と仲良く、安全に気を付けながら取り組んでいる。 自分に合っためあてを持ち、友達の練習方法を取り入れるなどして練習している。 息継ぎしながら、できる泳ぎ方で10～25mくらい泳ぐことができる。また、新しい泳ぎ方ができる。	できる泳ぎ方、できそうな泳ぎ方 ・面かぶりばた足 ・面かぶりクロール ・クロール ・かえる足泳ぎ ・平泳ぎなど
	表現活動	だれとでも楽しく踊ることができる。 自分がやってみたい動きを見付けたり、友達のよい動きを見付けたりすることができる。 思いつくままにいろいろな動きをしたり、友達と動きを組み合わせてたりして表現することができる。	いろいろな動きの表現
	ハードル走	順番やきまりを守り、安全に気をつけながら友達との競争を楽しむことができる。 自分の力に合っためあてを持ち、練習や競争をすることができる。 4つ程度のハードル等をリズムカルに走り越すことができる。	いろいろなコース ・ゴムハードルのコース ・インターバルの違うコース ・ダンボール箱のコースなど
	鉄棒運動	友達と場の安全や約束に気を付けながら、できる技、できそうな技に挑戦することができる。 自分の力に合っためあてを持って活動することができる。 力に合ったやさしい技ができる。	できる技、できそうな技 ・逆上がり ・膝かけ振り上がり ・かかえこみ回り（前方、後方） ・片膝かけ回転（前方、後方） ・後方支持回転・ふみこしおり ・後ろとびおり・転向前おりなど

後期	ソフトバレーボール	勝敗を素直に認め、仲良く最後までがんばってゲームをすることができる。 ゲームの進め方や練習方法に関心を持って簡単なルールを工夫したり、ルールを守ってプレーしたりすることができる。 ラリーの楽しさに触れることができる。	いろいろなソフトバレーゲーム ・風船やビーチボールで ・低いネットで ・パスゲーム ・サーブゲーム ・ラリーゲームなど
	マット運動	友達と場の安全や約束に気を付けながら、できる技、できそうな技に挑戦することができる。 自分の力に合っためあてを持って活動することができる。 力に合ったやさしい技ができる。	できる技、できそうな技 ・前転 ・後転 ・開脚前転 ・開脚後転 ・腕立て横とびこし ・側方倒立回転など
	なわとび	友達と場の安全や約束に気を付けながら、できる跳び方、できそうな跳び方に挑戦することができる。 自分の力に合っためあてを持って活動することができる。 できる跳び方の回数や時間を増やすことができる。	できる跳び方、できそうな跳び方 ・あやとび ・交さとび ・2重跳び ・あや2重跳び ・2人跳び、3人跳びなど
	わ・ぼうを使って	輪、棒などを使った運動に興味を持ち、友達と協力し、安全に気を付けながら進んで学習に取り組むことができる。 自分の力に合っためあてを持って練習や運動をすることができる。 輪や棒などを操作して、各種の動きができる。	輪や棒を使ってできる動き、できそうな動き ・輪回り ・輪くぐり ・輪回し ・輪投げ ・棒とび ・棒取りなど
	サッカー	ルールを守り、お互いの判定に従ってゲームができ仲良く最後までベストを尽くすことができる。 ゲーム進め方や練習方法に関心を持って簡単なルールやコート工夫したり、攻めや守りの動きを考えたりすることができる。 自分のチームの動きを意識したボール扱いが進んでできる。	ルールやコートを工夫したゲーム ・人数や、得点の工夫 ・縦割りコート ・横割りのコート ・ラッキーゾーンコートなど

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【運動や健康・安全への関心・意欲・態度】 約束やきまりを守り、互いに協力し、健康・安全に留意して最後まで楽しく運動しようとしている。</p> <p>【運動や健康・安全への思考・判断】 運動の特性に応じた課題の解決をめざして、活動の仕方を考え、工夫している。</p> <p>【運動の技能】 運動の特性に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>記録カードでの振り返りや友だちとの相互評価、準備・片付け、グループ内での話し合い場面、日常の学習の様子など、多面的な評価方法を取り入れます。</p> <p>自分なりのめあてをもち、意欲的に活動に参加する態度や個々の伸びを大切にしていきます。</p>
--	--

特色ある学習方法

- (1) 全体での一斉学習を主としながら、内容によって、グループ学習や個人学習を取り入れるなど多様な学習形態を工夫します。
- (2) いろいろな運動を楽しみ、自らがめあてを持って取り組めるように、自己決定の場面を取り入れます。
- (3) 活動を効果的に進めるために、学習環境を整え、安全に留意して取り組みます。

使用材教等

- 体操服、赤白ぼうしなど
- 跳び箱、マット、縄跳び、ハードル、ソフトバレーボールなどの用具
- 正しい運動方法を視覚的にとらえたり、単元の導入やめあてを決定したりする場面などで、ビデオ教材を活用していきます。

留意事項

食事・睡眠など基本的な生活習慣を身につけることが何よりも大切です。健康で安全な生活を送れるよう家庭でのサポートをよろしく願います。規則正しい生活リズム、よく体を動かす生活をいっしょに作っていきましょう。

